

4 - 3 東海地方の地殻変動

Crustal Movements in the Tokai District

国土地理院地殻調査部

Crustal Dynamics Division, Geographical Survey Institute

国土地理院では、東海地方で駿河湾西岸を中心に水準測量を反復実施しており、その成果は、地震予知連絡会にその都度報告して来たが、今回、これらの測量結果を整理して、東海地方の上下変動をコンターにまとめた。

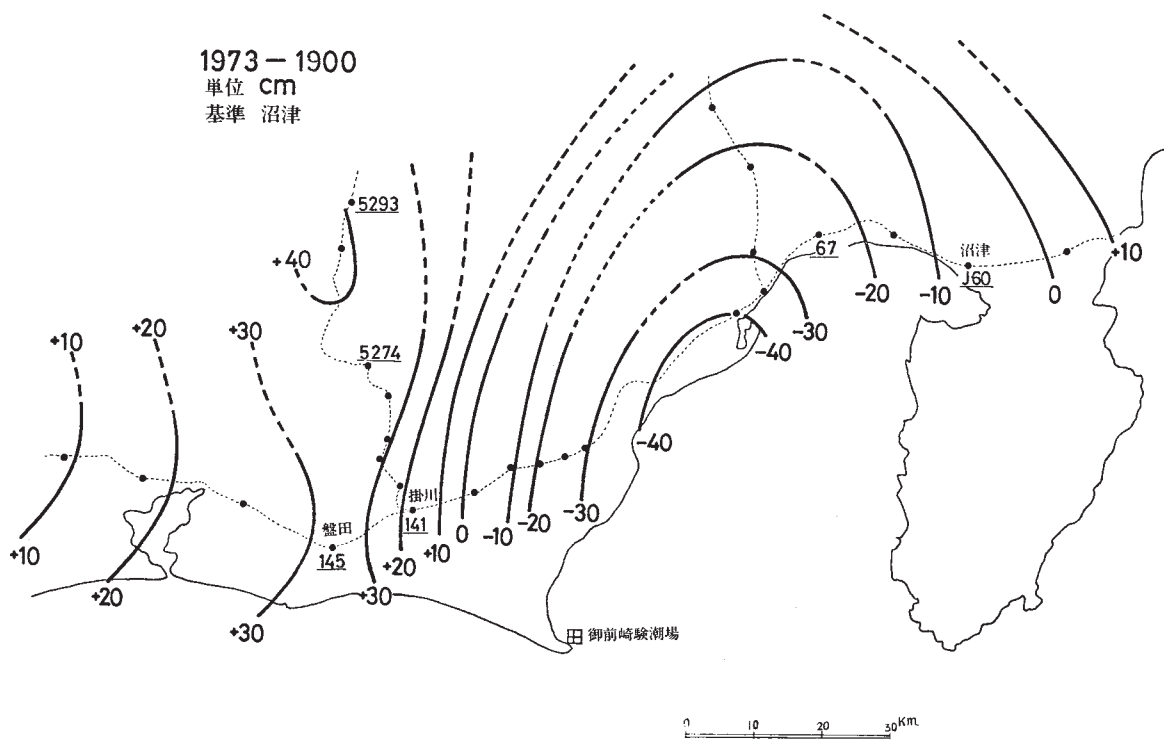
第1図は、明治の測量から1973年まで70年間の変動を示すもので、清水附近を中心とする駿河湾西岸の沈下と、赤石山脈から浜名湖の東にかけての隆起が目立っている。

図中の水準路線の黒丸は、コンターを作成するのに使用した水準点で、明治以降の変動をたどれる水準点である。

この変動図は、沼津のJ60を基準にして作成しているが、この水準点が、関東大地震で約7cmほど沈下したことを補正しているので、實際上、平均海水面を基準にしたものとみなして差支えない。御前崎附近の変動がないのは、この附近に水準路線が設置されたのが1960年以降であるためである。

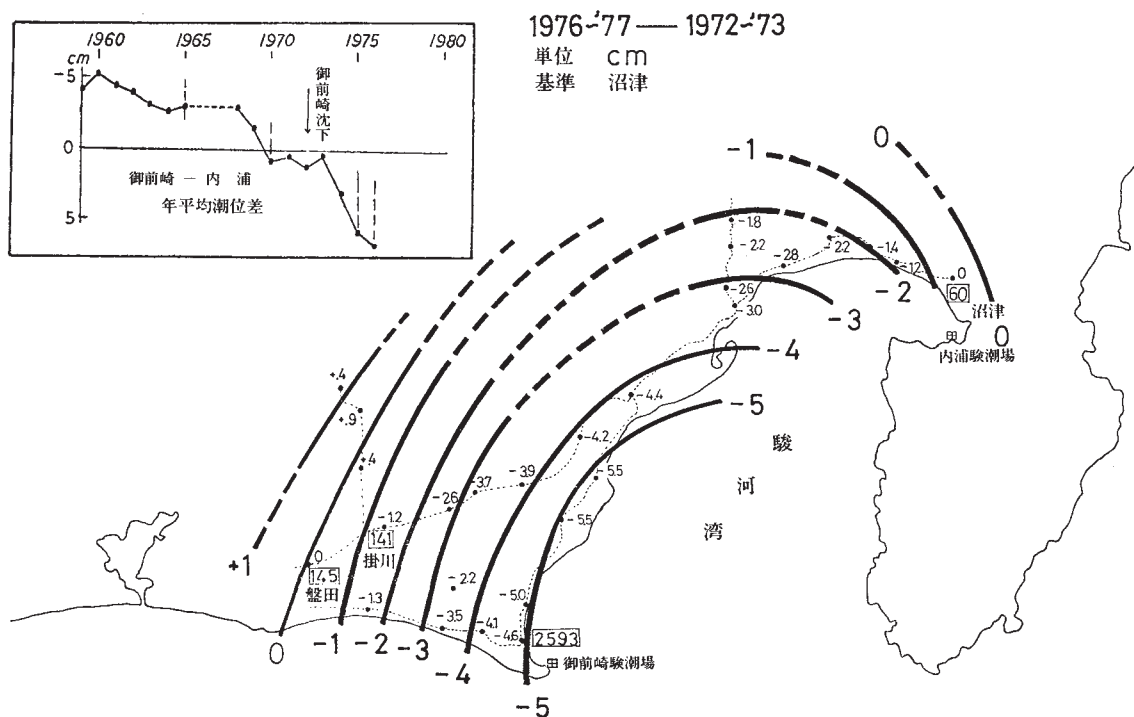
第2図は、最近数年間の東海地方の上下変動をまとめたもので、第1図と同様に沼津を基準として計算している。この図で、御前崎から清水にかけて駿河湾西岸が東南方向に傾斜沈降していることが分る。変動のパターンは第1図と大局的には良く合っているが、変動の速度は最近の方がやや大きいようである。

第3図は、掛川のJ141から岡崎に至る水準路線の変動図である。この路線は、水準路線の変更などの理由で、1950年以降測量が行われたのは、今回が初めてである。三ヶ日町附近に隆起が目立っているが、この隆起は赤石山脈の隆起の延長と考えられる。



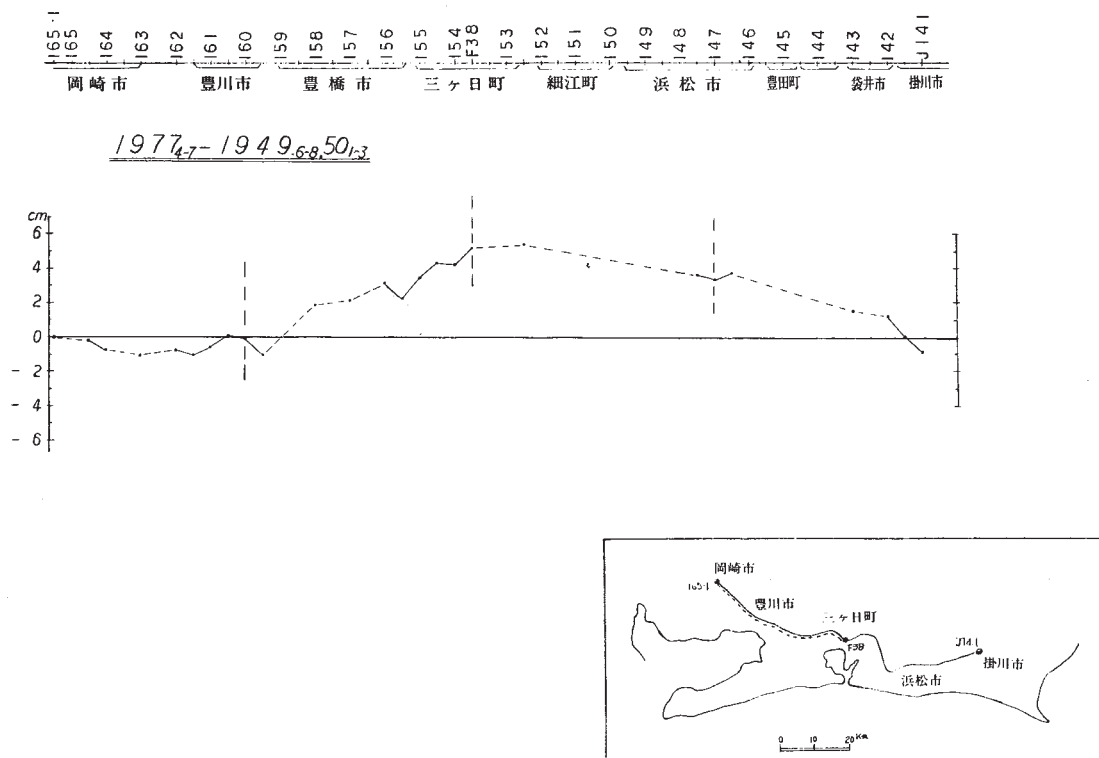
第1図 東海地方の上下変動（1973 - 1900）

Fig. 1 Vertical movement in Tokai District. (1973 - 1900)



第2図 東海地方の上下変動（1976 ~ '77 - 1972 ~ '73）

Fig. 2 Vertical movement in Tokai District. (1976 ~ '77 - 1972 ~ '73)



第3図 岡崎～掛川間の上下変動

Fig. 3 Vertical movement between Okazaki and Kakegawa.